

平成 27 年度「市民と議会の意見交換会」報告書

平成 27 年 1 1 月

作成

責任者 小野 敏雄

開催日時	平成 27 年 1 1 月 1 3 日 (金) 午前・午後 6 時 3 0 分 開会 ~ 午前・午後 8 時 1 5 分 閉会	
開催場所	港北コミュニティーセンター	
出席議員	野崎議長 坂本茂議員 小野議員 野呂議員 燕議員 鵜城議員 澤井議員 戸水議員	
参加人数	1 1 名	
質問等の要旨及び回答の要旨	船場公園について	
	意見①	まだ見ていないが、担当課の報告によるといい施設が出来たと思う。建物は管理棟ということだが、道の駅を作ってはどうか。 いろいろな状況でできないとは聞いているが、無いのは留萌だけだ。なんとか道の駅にできないのか。
	回答①	船場公園は国の交付金を使って建設したもので、現段階では道の駅とはならない。道の駅の基準に合致しない。 管理棟は研修室・実習室などからなり、利活用を促進する。 ただ、「道の駅が必要である。」という声はしっかりと受け止めて、今後 1 年 2 年と積み重ねた中で使い方も含め様子を見て進める。
	意見②	・ドックランやパークゴルフ場は多くの人がかかり利用していると聞いているが、国道 2 3 1 号線に近いことから大型トラックの休憩地点になっている。トレーラーを切り離して置いたまま帰る、次の日の朝になると、違う車が来て繋いで運んでいる。 これが続くと一般車の駐車スペースがなくなってしまう。 ・また、広場に草が出てきている。今年の秋は生い茂っていた。

※ 質問等の要旨及び回答の要旨は、別紙でも可

質問等件数 1 2 件

質問等の要旨及び回答の要旨

指定管理者は大変だろうな、維持費が相当かかるなど見ている。
 交流人口を増やすといっても、どうやったら増えるのか。
 年に何回あるのか。これだけお金をかけたのだから、誰かがやる
 のだろうが。素晴らしいけれど、維持していくのは大変。
 いい方向に、持って行って欲しい。

回答②

- ・春先のホタテの稚貝出しのトレーラーだと思うが、荷台を置いて先頭が移動している。あそこは公園の駐車場だから、目的外の利用になるので、管理者が決まったら対応していく。
- ・草の件については、施設の関係について指定管理者に伝えていく。
- ・交流人口をどうやって集めるのか。16日に指定管理者の公募が始まる。イベントや催し等市民の意見を聞き、相談して進めて行く。

せっかく作った所なので、前向きに、多くの方々に着ていただけるような方向で考えて行きたい。

意見③

先日、障がい者の日の記念事業で430人の人が集まった。皆さんに船場公園管理棟について聞かれたが、見たことがないので、答えられなかった。一般公開する考えはないか。

「留萌の物産館や道の駅はどこにあるのですか？羽幌などあちこちにあるのに。」と言われる。住民に浸透することが大事。

公開していくことが、利用してもらうことにつながる。一般公開はいつするのか。

回答③

市側に伝える。

道の駅の問い合わせを含め、市民への周知はどうか。今している周知で十分かは、議会として受け止めて検討していく。

意見④

集客の関係について。

道の駅には魅力がある。あすこに行ったら、何か美味しいものがあると。ネットでも提供すれば、みんな検索します。

何もないところに、誰が来ますか？

回答④

管理棟という位置づけなので、要望は分かって、管理棟として駐車場はこれでいいのか、議論の中でお伝えしながら、道の駅になった時の補助金や市の持ち出しなど考えて市として議論していく。

意見⑤

船場公園には入ったことはないが、市でやっていることに「望洋の森」がある。草刈をしていないから、あずま屋も腐ってしまった。船場公園も何年かしたらこうなるんじゃないか。

スポーツで使い道と言われても考えられない。急に言われても、漠然としてわからない。

回答⑤

ご意見を受け止めて議論していく。

高齢者としても、行けないわけだから、バスなどの交通の便についてしっかり議論していく。

公共施設の利活用について

意見⑥

この地域で廃校については、しっかり考えていきたい。

第2 常任委員会の施設をめぐる話で、福祉施設はおかしい。建設するというのは。学校を再利用してやってもらえたら。

この地域の学校も廃校という話もあるが、地域の学校はぜひ再利

用を考えて。地域に施設があれば、お世話になる。

検討を願って、議論して有効な活用をお願いしたい。

回答⑥

・もしも、地元にある学校がなくなった時、有効な利用を市、経費についてもしっかりと受け止めて行きたい。

・北光中、港北小はこの地域のシンボリックな施設。廃校、解体ということにならないように延命化し、どう利活用するか地域における要望を受け止めてやっていく。

意見⑦

今後40年間の公共施設の維持管理費用については、それまで生きていないのであまり関係がない。当面の話が大事。

この施設（港北コミセン）も大幅に予算を削られている。

5町内で利用しているが、交代で掃除をし、事務局長の手当はごくわずか。もう少し何とかしてもらいたい。

回答⑦

それぞれのコミセンの連絡協議会を持ち、市との協議をやってきて、コミセンからは管理人制度の問題がでている。

今から7年前は助成をもらって、嘱託職員クラスの人件費が出ていた。今は人権費はゼロ。維持管理にかかる光熱費などが前年度実績に基づいて、それぞれ示される。

一昨年から、金額が少しずつ上がってきている。16日にコミセンの代表者が集まって、市の考えが述べられる。運営に対する助成がどのようになっているのか維持管理・修繕などについて協議する。

7年間は抑えられている。今後、各コミセンの皆さんと知恵を出しながら運営を考えて行く。

質問等の要旨及び回答の要旨

現状として、収入が上がらない。月4万以上上がるのか、どうやっていくか、利用を高める創意工夫にも限界がある。
議会でも、目配り気配りをさせていくようにしたい。

意見⑧ 温水プールふるもについて、新聞報道によると管理費用がかかり28年度からの通年営業はかなわない、と受け止めている。
夏場5ヶ月間営業という計画案もあるようだが、どちらかという
と冬の方が体力的にも落ち込む。冬休みもある。冬の方がより効果的だと思う。開館時期も含めて検討をお願いしたい。

回答⑧ 積極的な意見として受け止めて、検討していく。
今、議論をしているところで、市街地の活性化という当初の目的も考え併せて取り組もうとしている。今、財政問題も含めて様々な意見を具体的に検討している。直営する場合やプロの企業に入ってもらった時の予算、進行状況、オープンしたときの基本的な考え方、果たすべき役割を審議している最中。
このような意見交換会は、市民の皆さんの意見を直接反映できるのでご意見をお願いしたい。

これだけは言いたいこと

意見⑨ 広報誌の9月の決算委員会で土木費と除雪について質問と答えが出ているので、それをここでもう一度、言って欲しい。

回答⑨ 2名の議員から土木費と除雪に対する実績説明あり。

意見⑩ ・港湾関係でお願いしたい。町内が古丹浜の貯木場に隣接している。貯木場の一角に、木材の皮が積んである。風のある時に、その皮が飛散する。町内の方から市の方に要望している。

数年前から丸太の皮が多くなった。その大きさを測ってみたら、直径20m、高さ4mになっている。景観的にも良くない。

- ・古丹浜地区に雑草が多い。シナガワハギという黄色い花の外来種で道路の縁石にまで咲く。夏、除草してもらえないか。

最近マナーが良くなっているが、平日、丸太の皮を除去してもらいたい。

回答⑩ 現場の確認も含めて、所管と対応していく。

意見⑪ JRのアンケートについて思うのだが、廃線というのは、まだ決定ではない。JRは地域の財産。年間1億6千万の赤字といっても、400分の1.6の赤字だ。

留萌増毛間を廃線したからといって、赤字が解消するわけではない。公共の交通だから、利用がある限り、残すべき。

同意が得られれば、廃止したいと言っている。議員は同意されるのか。できれば残す方向で行って欲しい。

回答⑪ 検討対策会議で検討しているところで、市民の皆さんがこの線路をどう考えているのか、受け止めているのか意向調査をした。

1141人から回答を得た。

結果を見ると、やむを得ないという声が多いが、私どもは分析をしながら留萌本線をどうやって行くのかという危惧も含めて対応していきたい。

心配もし、問題意識を持ちJRの説明会であったことを、議会でも質問している。

JR北海道に対し、JRの方針に基づいて増毛町議会が公開質問

質問等の要旨及び回答の要旨

状を送り、11月20日頃には答えが出てきそうだ。

増毛町が出している、5項目の質問に回答する動きが早くなっているようだ。

留萌市議会としては、25日に検討対策会議を開き、全員協議会をひらいて12月1日からの議会の中で、方針を出していく。

国民の足なので、国交省に求めていく。道庁もしっかりとした動きなので、それに対する動きもしていく。

併せて、JR北海道に対しても私どもの意見を出して行きたい。すんなりと、一方的に進めて行かれないようにしていきたい。

JR北海道は年内に方向性を出したい、地元の合意が得られれば来年秋には廃止に、と言っているので、皆さんの心配を解消しながら進めて行きたい。

意見⑫ 羽幌－留萌間の線路の廃止の時の対応に比べて、不公平感がある。議会はバス路線をどう考えるか。

回答⑫ 廃止になったらどうするか、という話ではなく、廃止にストップをかけるということだ。ただ、万が一のことも考えるから、どうするか対策を検討している。